

## 4 子ども部会

### (1) 平成31年度検討事項と結果

#### ア 福祉と教育の連携体制について

児童の状況について、様々な支援機関において活用してもらうことを目的に「わたし手帳」の見直しを行った。具体的には、市内の小中学校、障害児通所支援事業所を対象にアンケートを実施し、その結果を基に、記載内容の見直し、及び手帳サイズ変更（B5→A4）を行った。情報が更新された場合に差し替えがしやすいように形式を冊子からファイルに変更を行った。

#### イ 子育て支援セミナーについて

保護者を支援することを目的に、医療従事者による講演「児童期から思春期にかけての子どもの発達と関わり方」を実施した。講演後は、聴講者と支援機関及び当事者団体を交えた質疑応答を行い、成長期の子どもを抱える保護者がどのように子どもと向き合うべきかをテーマに参加者で議論した。

セミナー開催後に参加者からのアンケート結果に基づき、当日の所感や反省点を確認し、来年度のセミナー開催について検討を行った。

#### ウ 医療的ケア児支援の検討

医療的ケア児者の人数や当事者の困りごと等の実態を把握するための調査を愛知県と名古屋市が合同で実施しており、愛知県から調査結果が31年度末に送られてくる予定である。来年度以降にこの調査結果を基に医療的ケア児の課題の共有と対応策の検討を行うこととした。また、学校等における医療的ケア児の対応については、保護者の負担が大きいことを課題として部会の中で共有し、児童が学校にいる間の支援を訪問看護によるケアで補う新しい制度の創設につなげることができた。

### (2) 令和2年度検討事項

#### ア 福祉と教育の連携について

改訂版「わたし手帳」を普及させていく中で、実際に手帳を使用する児童とその保護者から意見をいただき、「わたし手帳」の内容について改善を

検討していく。

#### イ 医療的ケア児支援の検討

愛知県が実施した医療的ケア児に関する実態調査の結果を基に、地域の現状把握、分析、支援内容等、地域全体の医療的ケア児とその家族が直面する課題の把握・共有と対応策の検討に引き続き取り組む。

※子育て支援セミナーに関しては、新型コロナウイルス感染症の状況より、今年度は中止とする。